



学校教育目標
夢大きく、心豊かな児童の育成
～知・徳・体！キラリと光る三つ巴っ子～

ごあいさつ

三原市立本郷小学校は、今年で150周年を迎えます。明治8年（1875年）高山城の麓、圓光寺に開設され、また、小早川氏の家紋「左三つ巴」を校章に戴くなど、歴史と伝統のある学校です。

この歴史と伝統を誇りに、328名の児童が、それぞれの夢の実現に向けて、のびのびと成長できる学校を目指して、本年度の学校教育目標を、「夢大きく、心豊かな児童の育成～知・徳・体！キラリと光る三つ巴っ子～」としています。

本校では児童も教職員も『三つ巴の魂』を大きく育てよう』を合言葉に、日々がんばっています。この『三つ巴の魂』とは、「かしこくなる魂」「やさしくなる魂」「たくましくなる魂」の三つをいい、具体的には次のような取組を進めています。

○「**かしこくなる魂**」を育てるために

本校では、研究主題を『自ら学ぶ力』を育む授業の創造～自己・他者・対象との『対話』を通して』としています。一人ひとりが自分の言葉で思いや考えを表現し、話し合い、聞きあいながら、学ぶ楽しさを実感させたいと考えています。さらに、もっと知りたい、やってみたい、やってみよう、やり続けようといった「自ら学ぶ力」を育てようと授業研究を進めています。

○「**やさしくなる魂**」を育てるために

本校はコミュニティ・スクールとして、地域の皆様・保護者の皆様のお力をお借りしながら、ふるさとを愛し、身近な人に感謝の気持ちをもつ児童を育てていきます。また、自他を尊重する心を育て、安全・安心な学校づくりを進めています。

○「**たくましくなる魂**」を育てるために

三原市の金のルールでも示されているように、『早寝』『早起き』『朝ごはん』の基本的生活習慣の定着を図っています。また、基礎的な体力の向上を目指し、体育科授業の工夫や、「体を動かすことが楽しい」と感じる児童を育てる取組を進めています。

本年度も、地域の宝である子どもたちの、成長のために、全教職員一丸となって教育活動に邁進していきます。保護者の皆様、地域の皆様、今後とも変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

三原市立本郷小学校長 永井 美智子